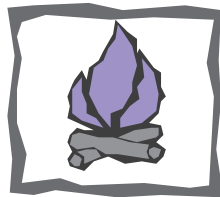




キャンプファイアー(CF)

活動名	キャンプファイアー(CF)				
概 要 (セールスポイント)	自然の中で炎を囲み、ゲーム、ソング、ダンス、スタンツなどを行うことで連帯感や友情を深めることができ、日程の始めの方で実施すれば緊張をほぐし、親睦を深める効果があり、最後に実施すれば研修のまとめや自己を深く見つめる場になります。				
諸条件	場 所	営火場(4カ所)		対 象	小学生以上
	所要時間	60～90分		人 数	20～300人
	時 期	5～10月(これ以外は相談)		天 候	小雨可(雨天時は相談)
活動の 教育的効果	(1)ゲームやスタンツを通し、友情と親睦を深めることができます。 (2)キャンプファイアーの企画や運営を通し、リーダー性や協力性を養うことができます。 (3)静寂の中、煌々と燃える火を見つめながら、自分の心を見つめ直すことができます。				
準備する物	青少年交流の家で貸出し可能な物			団体で準備する物	
	<input type="checkbox"/> 火の神衣装・つえ <input type="checkbox"/> 延長コード <input type="checkbox"/> ポータブルアンプ・拡声器 <input type="checkbox"/> CDデッキ <input type="checkbox"/> リアカー			<input type="checkbox"/> CD・カセット <input type="checkbox"/> トーチ <input type="checkbox"/> 丸太・薪(レストランに注文、持込み可) <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マッチ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 新聞紙	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容		備考
	事前	役割分担	<input type="checkbox"/> 役割を分担する(①)		
		安全指導	<input type="checkbox"/> トーチを持つ生徒への安全指導 <input type="checkbox"/> 大きな火の周りでレクをする事への注意喚起		
	60分	CFの準備(①)	<input type="checkbox"/> 食堂裏で丸太・薪・灯油を受け取る <input type="checkbox"/> 営火場へ丸太等を運び、セッティング		セッティングは 職員指導可
	90～ 120分	CFの展開例(②)	<input type="checkbox"/> 第一部(迎火のつどい) ・入場、開会 ・歌「遠き山に日は落ちて」 ・火の神入場、分化、点火 ・閉会 <input type="checkbox"/> 第二部(交歓のつどい) ・開会、レクリエーション、スタンツ ・歌(心にしみるような歌) ・閉会 <input type="checkbox"/> 第三部(送火のつどい) ・開会、歌、誓いの言葉 ・送火、歌「今日の日はさようなら」 ・火の神退場、閉会		※消火確認
	60分	片付け(①)	<input type="checkbox"/> 残り火がないか確認する <input type="checkbox"/> 掃除用具庫より道具を持って行く <input type="checkbox"/> 一輪車で炭捨て場に捨てる		
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 怪我(準備段階での丸太・薪で指を挟む、とげが刺さる) <input type="checkbox"/> やけど(衣服に火が燃え移る、火の粉が体・衣服につく、トーチの布が緩んで落ちる) <input type="checkbox"/> 火事(風力や風向き、乾燥期などの天候を最大限考慮する) <input type="checkbox"/> 転倒(暗闇の中のレクリエーションや出し物)				
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 火を小さくし、火を見つめながら仲間と語るよう指導する。 <input type="checkbox"/> この展開例は、セレモニーやスタンツに重きを置いた一例です。 こうした展開にこだわらず、団体の計画や参加者主体の自由な発想での実施をおすすめします。				

※①、②は資料番号を示す

キャンプファイアーの準備と片付け


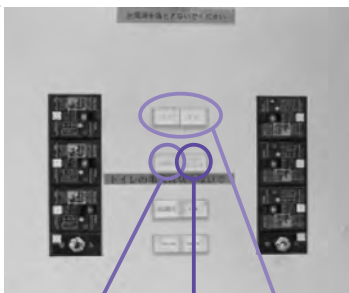

1. 準備の流れ

1		2		3	
丸太、薪、灯油を食堂裏の倉庫に取りに行きます。(食堂職員に声をかけてください)		丸太を運ぶ際に、灯油をお渡しします。 <u>取り扱いには十分注意</u> してください。		リアカーを使用できます(丸太・薪・灯油を運ぶ)。 ※リアカーは食堂裏	
4		5		6	
丸太を営火場の中心に「井」の形に組みます(写真は営火場Ⅰ)。		指を挟まないように注意しながら組みます(太い丸太が下になるように)。		丸太を写真のように積み上げます(左右のバランスを見ながら組むのがコツ)。	
7		8		事前の安全指導	
写真のように薪を中心に置きます。火を入れる場所には新聞紙を入れ、灯油は火をつける直前にかけます。		トーチに灯油をひたしておきます(トーチは団体で準備してください)。 <u>灯油が下に垂れるのに注意!!</u>		① トーチを持つ生徒へ、火のついた雑巾の固定が緩いと、落ちてくる危険性がある事を指導する。 ② 普段は体験する事のない大きな火の周りでレクをすると、気分が普段以上に高揚し事故が起こりやすくなりがちであるため、注意喚起が必要。	

2. 片付けの流れ

1	2	
		※キャンプファイアーの残炭処理は翌朝に行ってください。
野外炊事庫から一輪車やスコップ、ほうきなどの掃除道具を持って行きます。	燃え残った炭を炭捨て場に捨てます（火が残っていないかを確認してください）。	

3. 営火場の設備

1	2	3
		
電源ボックスの下（裏）にコンセントがあります。（営Ⅰ）	トイレ コンセント 外灯	水道と延長ホースがありますので、水をたっぷりかけて消火してください。

	電源	ライト	水道	人数(最大)	トイレ	ベンチ
営Ⅰ	○	4機	○	約300人	○	石段あり
営Ⅱ	○	1機	○	約150人	×	木製ベンチあり
営Ⅲ	○	1機	○	約150人	体育館	木製ベンチあり
ボン	リーダズロッヂから	×	○	約30人	○	木製ベンチあり

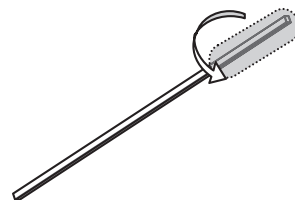
4. 貸出物品

		
火の神の衣装(赤、白)	火の神のつえ	ドラムコード ポータブルアンプ(CD可)

5. トーチの作り方(例)

- ① 1 mほどの棒を用意する。
- ② 先に雑巾を巻き付ける。
- ③ 雑巾の上から針金を巻き、棒と雑巾をしっかり固定する。

※雑巾の固定が弱いと、火をつけた雑巾が滑り落ちて
やけどをする可能性があります。



6. 役割分担

役 割	人 数	内 容
①火の神	1	団体を代表する人で、営火の言葉を告げる(営火長)。
②火の神の子	1～4	火の神を補佐・誘導し、聖火を運ぶ。
③司会者	1～3	プログラムの進行をする。
④点火係	4～8	火の神から分火してもらい火床に点火する。
⑤ソングリーダー	1～4	歌のリードをする。
⑥誓いの言葉係	2～8	キャンプファイアーの感想を発表する。
⑦準備係	6～10	丸太を組み営火の準備をし、後始末をする。
⑧ファイアーキーパー	1～2	進行を考えながら火の大きさを調節する(安全担当の引率者)。

7. その他

- (1) 灯油の入っている缶は食堂に戻してください。
- (2) 風向き、風力に注意し、火を大きくしないでください。
- (3) 使用した用具は元の場所に戻してください。
- (4) ボンファイアー場の電源についてはご相談ください。
- (5) 注意報、警報が出ている場合は実施出来ない事があります。

キャンプファイアー展開例

【第一部 迎火のつどい】

- 1.入場 「皆さん入場してください。」(中心に向かい円になるように整列)
- 2.開会 「ただいまより、第一部、迎火のつどいを始めます。」
- 3.歌 「はじめに『遠き山に日は落ちて』を歌います。1番を歌詞で歌い、その後はハミングで繰り返してください。」
- 4.聖火入場 「聖火入場。」(ハミングの途中で入場)
- 5.火の神の詞 「ここで、火の神様のお詞をいただきます。火の神様お願いします。」
(火の神始めの詞参照)
- 6.分火 「ここで火の神様から聖火を分けていただきます。点火係になっている人は火の神様の前に出てきてください。」(分火の詞参照)
- 7.点火 「それでは点火されます。」(火の神の合図で点火する)
「今、点火されました。皆さん大きな拍手をお願いします。」
- 8.歌 「燃えさかる炎を見つめ、皆さん元気よく『燃えろよ燃えろ』を歌いましょう。」
- 9.閉会 「これで第一部迎火のつどいを終わります。」

【第二部 交換のつどい】

- 1.開会 「これから第二部、交歓のつどいを始めます。第二部は皆さんと元気よく楽しくすすめたいと思いますのでご協力ください。私は司会の〇〇です。よろしくお願いします。」(全体で5分くらい元気な歌や簡単なゲーム等をする)
- 2.出し物 「それでは各班のスタントの順番は△△・・・の順です。スタントの最初と最後には盛大な拍手をお願いします。では、△△班お願いいたします。」
(各班の出し物の合間には、5分前後の簡単なレクリエーションを入れる)
- 3.閉会 「皆さん、楽しめましたか？これで第二部交歓のつどいを終わります。」

【第三部 送火のつどい】

- 1.開会 「これから第三部、送火のつどいを始めます。」
- 2.歌 「最初に、心を落ち着けて、『一日の終わり』を歌いましょう。皆さん立って下さい。」
- 3.誓いの言葉 「次に誓いの言葉を発表していただきます。係になっている人は前に出てきてください。」
- 4.火の神の詞 「ここで、火の神様より終わりのお詞をいただきます。お願いします。」
- 5.採火 「採火をお願いします。トーチに火がついたら拍手をお願いします。」
(火の神の子が残り火からトーチに採火、火の神に渡す。)
- 6.歌 「最後にみんなで『今日の日さようなら』を歌いましょう。3番まで歌ったらハミング(ラララ)で続けてください。」
- 7.火の神退場 「火の神が退場します。みんなでお見送りをしましょう。」(歌の途中で)
- 8.閉会 「楽しいつどいも終わりの時となりました。このキャンプファイアーの喜びや感動をいつまでも胸にいだいて、明日からの学習やスポーツにはげみましょう。これで第三部送火のつどいを終わります。ご協力ありがとうございました。」
(ハミングの途中から)
- 9.退場 「△△班から順に、静かに歌いながら退場してください。」

◆火の神、始めの詞

人類は、太古から火と水と土に恵まれここまできた。若者たちよ、今宵は自然のふところに帰れ。火は神が人間に与えた宝である。人類は何万年の昔から火を崇め祭ってきた。明々と燃える情熱の火、嵐の中を突っ走る闘志の火、協力と団結と友愛の火、皆、私の与えた宝である。我は、今、この地において汝等の幸せを願い、愛の火を授けん。心にこの愛の火を灯して、明るい社会の礎となれ。すべての人の心にこの火を灯せ。燃えろよ燃えろ。照らせよ照らせ。この火を次代の若者たちに伝えよ。我が愛の印として、この火を分かち与えん。

◆分火の詞 ※グループ数に応じて下記より選択して下さい。

- ①そなたには、友達を思いやる“友情の火”を授けよう。
- ②そなたには、丈夫な体になる“健康の火”を授けよう。
- ③そなたには、よく考え抜く“勉学の火”を授けよう。
- ④そなたには、頑張り続ける“努力の火”を授けよう。
- ⑤そなたには、お互いに助け合う“協力の火”を授けよう。
- ⑥そなたには、運動を楽しむ“スポーツの火”を授けよう。
- ⑦そなたには、汗をかいて働く“勤労の火”を授けよう。
- ⑧そなたには、世の中のために働く“奉仕の火”を授けよう。

◆火の神、終わりの詞

楽しいつどいも今や終わろうとしている。この火を見つめているうちに、色々なことが心に浮かんでくる。人間一人の力は弱いものである。しかし、我々がそれぞれの力を精一杯に出して同じ目的に向かった時、それは明々とした大きな炎となる。

明日からまた普段の生活に戻り、学習に、スポーツに励むがよい。今宵の炎はいつまでも消えることのない心の灯となり、暖かく、清らかに、そしてたゆみない情熱と前進のために一人一人の心奥深く燃え続けていくであろう。これが、火の神の送る終わりの言葉である。

※展開例ですので、団体に合わせ自由に進行して構いません。